

学区概要

1 学校の所在位置

- (1) 住所表示 〒999-2204 山形県南陽市川樋25番地
- (2) 地理的位置 東経40度13分 北緯38度06分 標高300m

2 地域環境

(1) 自然環境

本校学区は、南陽市の東部に位置し、北西から南西にかけて、鷹戸山、秋葉山を隔てて吉野、宮内、赤湯学区に隣接している。更に、北東は、山を隔てて上山市に、南東は、大洞山、高つむじ山を境に高畠町、本市赤湯学区に隣接し、四方山に囲まれた地域である。

特に、大きな河川はなく、大洞山を源に平地部を国道に沿って北に流れる前川が、上山市の前川ダムに注いでおり、学区唯一の灌漑用水路となっている。

また、学区の総面積は、23.34km²で、その大方は山地を形成し、耕作面積は、3.80km²で、全体の七分の一と少なく、そのほとんどが水田と葡萄園である。

春から秋にかけての気候は温和であるが、冬は降雪量も多く、寒さとともに厳しい季節となる。

また、鳥上坂を米沢盆地から吹き上げる風の通り道にあたり、年間を通じて強風の日があり、秋口から春先にかけて濃霧に覆われる日がある。

さらには、東西に山が迫っているために、平地に比べ、四季を通じて日照時間がやや短い。

(2) 人為的環境

周囲を山に囲まれた地域ではあるが、学区の中央を南北に山形新幹線が通るJR奥羽本線が縦貫し、それに並行して、国道13号線が延びている。また、新田地区より川樋地区北端まで、川樋バイパスが通じている。さらに、川樋地内旧国道より鬼面石を経て、金山地区に至る金山街道と元中山地区から釜渡戸地区を経て、吉野地区へ通じる釜渡戸街道が、当学区内より隣接市町や隣接学区への通路となっている。

また、狭いながらも交通路の整備に伴って、大小の金属・機械工業関係の工場が国道沿いに並び、当学区からの従業員数も多い。また、県南部の置賜地方と県中央部の村山地方を結ぶ唯一の交通路であることから、南北に走行する各種自動車の交通量が非常に多い。国道13号線の渋滞解消を図るための上山バイパス（川樋トンネル）が平成22年11月に開通し、従来の国道通行量は大幅に減少した。令和元年4月には、東北中央自動車道の南陽高畠IC～山形上山ICが開通し、さらに通行量が減少した。